

成績概要書（2005年1月作成）

研究課題：キャベツの品種特性

担当部署：北見農試 作物研究部 畑作園芸科

協力分担：農政部農産園芸課、地域農業センター

予算区分：受託

研究期間：2003～2004年度（平成15～16年度）

1. 目的

キャベツの民間育成品種について、タイプ別・作型別の品種特性調査を行い、産地における品種選択の際の最新資料を提供する。

2. 方法

1) 北見農試における栽培の概要：表1のとおり。

2) 育苗方法：128穴セルトレイを使用し、培土にはピートモス主体の市販軽量培土を用いた。

3) 1区面積：16年の寒玉のみ9.6㎡、その他は7.2㎡。反復数2。

4) 供試品種

作期 ボールタイプ：標準品種「アーリーボール」他、15年度7品種、16年度8品種

サワータイプ：標準品種「藍春ゴールド」他、15年度7品種、16年度10品種

作期 サワータイプ：標準品種「藍春ゴールド」他、15年度10品種、16年度9品種

寒玉タイプ：標準品種「おきな」他、15年度12品種、16年度11品種

作期 サワータイプ：標準品種「藍春ゴールド」他、15年度6品種、16年度7品種

寒玉タイプ：標準品種「おきな」他、15年度13品種、16年度9品種

3. 成果の概要

1) 品種特性調査

北見農試において2ヶ年供試し、総合的に標準品種に優る特性を示した品種・系統の概要を示す。

「プラディボール」：肥大性に優れる。縁腐れ症、裂球は発生しにくい。球形のそろいがやや劣る。草勢は弱い。

「ボールランナー」：肥大性に優れる。やや裂球しやすい傾向がある。縁腐れ症は発生しにくい。標準品種と比べて扁平である。草勢は弱い。

「エックスボール」：肥大性に優れる。生育がややばらつく傾向がある。縁腐れ症、裂球は発生しにくい。球形は標準品種と比べて扁平である。草勢は弱い。

「楽園」：縁腐れ症の発生は15年の作期で若干発生したのみであった。生育のそろいはよく裂球の発生も少ない。草勢は強く、草姿は開張型である。

「若峰」：生育の早晩は標準品種とほぼ同等であるが、育苗特性が良好で、生育のそろいも良く、縁腐れ症の発生も少なかった。草勢は弱く、葉色はやや淡い。

「湖月」：肥大性は標準品種に比べやや劣る。草勢はほぼ同等。

「YR初美636」：肥大性に優れる。草勢は弱い。葉色は淡く、ワックスは少ない。

2) 内部成分および縁腐れ症に関する調査

(1) 硝酸含量には品種間差が認められたが、ボール・サワー・寒玉といったタイプ別、さらには作期別による一定の傾向は認められなかった。

硝酸含量の低かったおもな品種・系統には、ボールタイプでは「プラディボール」・「アーリーボール」、サワータイプでは「葉緑」・「藍碧」、寒玉タイプでは「恋風」・「試行203号」・「YR初美635」があった。

(2) ビタミンC含量には品種間差が認められたが、タイプ別・作期別の違いはほとんど認められなかった。今回の試験では全般的にビタミンC含量が低く、5訂食品成分分析表の値41mg/100gを下回っていた。

ビタミンC含量の高かったおもな品種・系統には、ボールタイプでは「ニューボール」、サワータイプでは「藍碧」、寒玉タイプでは「試行 203 号」があった。

(3) 縁腐れ症は作期 〃 で発生が見られた。特に平成 15 年の作期 〃 における発生が多く、発生には品種間差が認められた。

縁腐れ症の発生が少なかったおもな品種・系統には、ボールタイプでは「エックスボール」・「マルシェ」、サワータイプでは「YR かぎろひ」、寒玉タイプ(作期 〃)では「おきな」・「若峰」・「SK8-116」があった。

表 1 . 耕種概要

年次	作期	播種期	定植期	収穫期	栽植密度cm		栽植株数(株/a)	堆肥の施用量(kg/a)	施肥量(kg/a)		
					畦幅	株間			N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O
15		4月23日	5月19日	7月28日~ 8月8日	60	35	476	なし	1.8	2.1	1.8
		5月23日	6月17日	8月28日	60	35	476	なし	1.8	2.1	1.8
		7月1日	7月23日	10月15日	60	35	476	なし	1.8	2.1	1.8
16		4月19日	5月19日	ボール:7月20日 サワー:7月23日	60	35	476	なし	2.2	2.9	2.2
		5月26日	6月22日	サワー:8月25日 寒玉:8月30日	60	サワー:35 寒玉:50	476 333	なし	2.2	2.9	2.2
		7月1日	7月23日	10月12日	60	サワー:35 寒玉:50	476 333	なし	2.2	2.9	2.2

表 2 . 総合評価の高かった品種・系統の特性一覧

タイプ	No.	品種・系統名	育苗特性	生育の早晩	病害	縁腐れ症	生育のそろい	球品質	耐裂球性
ボール	4	アーリーボール(標)							
	5	プラディボール							
	8	ボールランナー							
	11	エックスボール							
サワー	25	藍春ゴールド(標)							
	22	楽園							
寒玉作期	34	おきな(標)							
	35	若峰							
寒玉作期	36	おきな(標)							
	34	湖月							
	60	YR 初美 636							

注 1 ) 各特性の評価は、高い順に > > > > x

注 2 ) 寒玉系の作期 〃 の標準品種としては「湖月」が設定されていたが、作期 〃 についても「おきな」を標準品種として評価の基準とした。

#### 4 . 成果の活用面と留意点

産地におけるキャベツ品種選定時の資料とする。

#### 5 . 残された問題とその対応